



2021年12月16日

報道関係者 各位

群大病院北病棟からの上水系統の給水再開について
(水質異常の原因と改善措置)

令和3年10月19日（火）に群馬大学医学部附属病院で水質異常が発生し、前橋市保健所から原因の特定及び改善並びに水質基準を満たすことが確認できるまで給水の停止を指示された「北病棟からの上水系統」について、このたび水質異常の原因を特定し改善を図り、水質基準を満たしていることを確認しました。

これらを前橋市保健所へ報告し、指示された事項を全て履行したことが確認されましたので、12月16日（木）13:00から「北病棟からの上水系統」の給水を再開することとしました。

患者様、そのご家族をはじめ、地域住民の皆様大変ご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。群馬大学では、このようなことを二度と起こさないよう再発防止に努めて参ります。

「北病棟からの上水系統」の施設
北病棟、アメニティモール、東棟、診療棟1、診療棟2、診療棟3

1. 水質異常の原因

群馬大学では外部有識者を含む調査委員会を設置し、「北病棟からの上水系統」において、亜硝酸態窒素と硝酸態窒素の濃度が基準値を超えた原因の究明を行ってまいりました。その結果、空調用配管と上水管を繋ぐチャッキバルブが経年劣化により開放状態となり、亜硝酸塩を含む防食剤が投入された空調用温水が上水に混入したことが原因であると特定しました。

※北病棟の空調の仕組み

北病棟の空調は、空調用配管に冷水、温水を循環させることによって冷暖房を行っています。配管の錆びを防ぐため亜硝酸塩を含む防食剤を毎日投入しています。

また、空調運転においては空調水が減少するため、空調用配管と上水管を接続し、空調水に補給できるようにしていました。なお、空調水が上水に混入しないよう接続部にチャッキバルブを取り付けていました。

2. 改善措置

空調水が上水に混入しないよう、**空調用配管と上水管を切り離しました。**

北病棟の上水系統に溜まっていた亜硝酸塩を含む汚染水を除去するため、継続した排水を行い、水質基準を満たすことを確認しました。

3. 北病棟からの上水系統11か所の水質検査結果（12月14日）

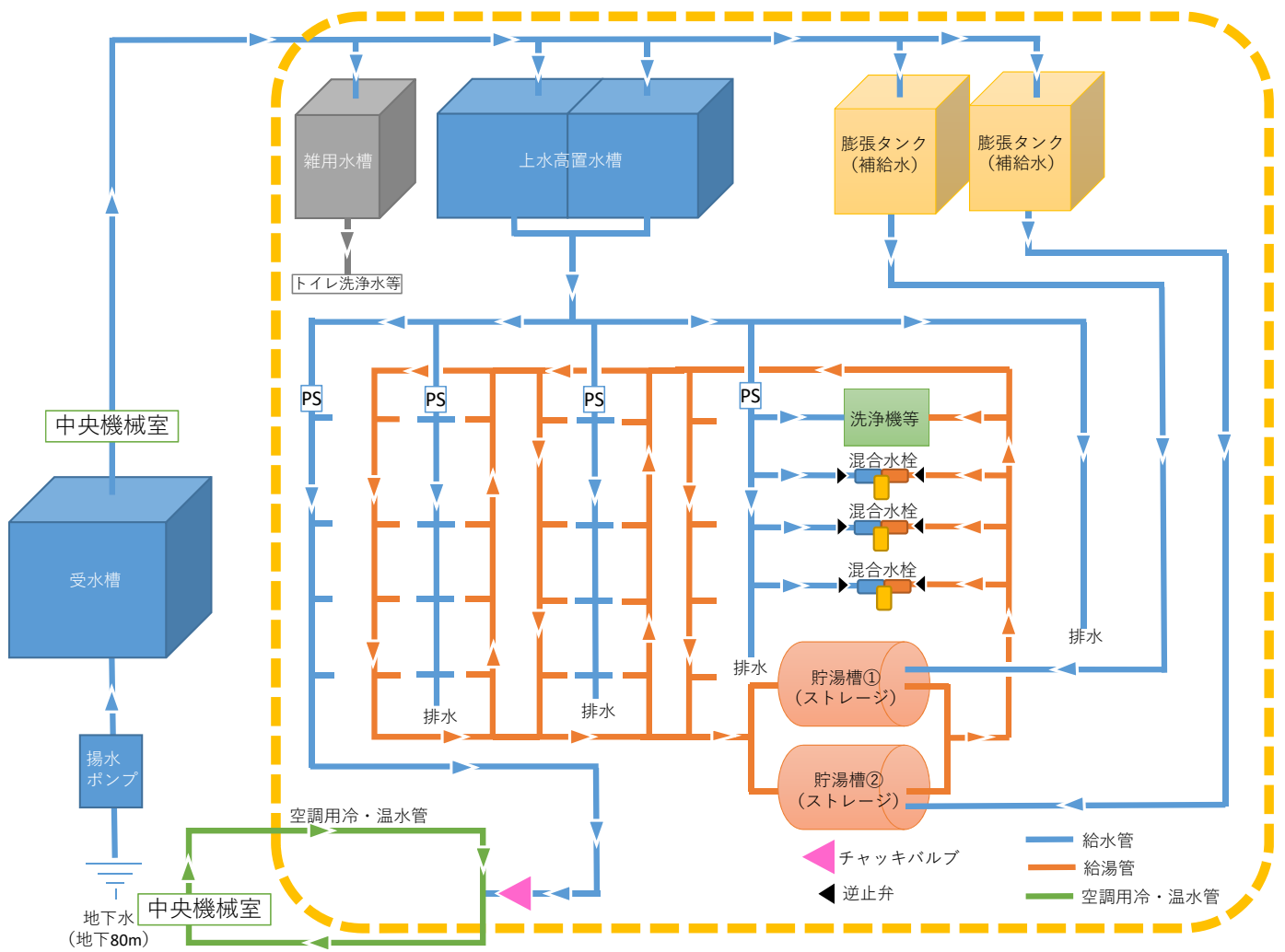
亜硝酸態窒素 0.004mg/L未満、硝酸態窒素 4.7mg/L~4.8mg/L

（水道水質基準値：亜硝酸態窒素 0.04mg/L以下、硝酸態窒素 10mg/L以下）

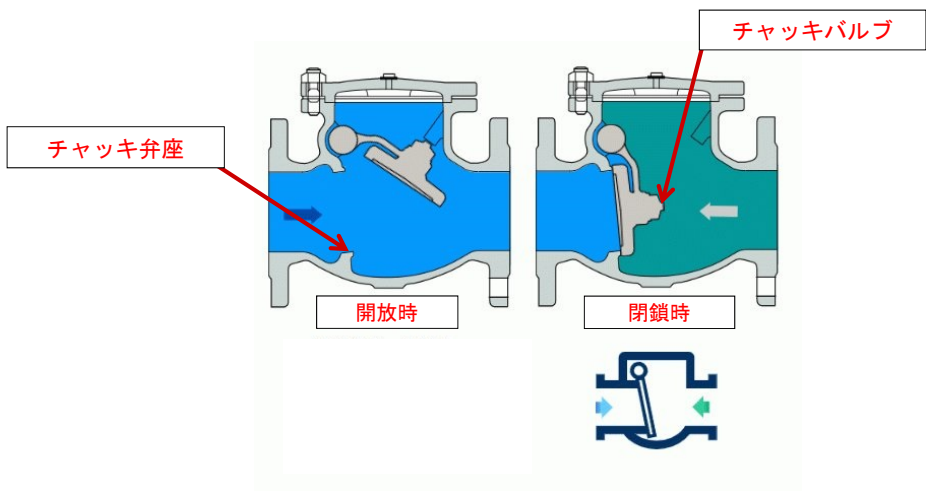
【本件に関するお問合せ先】

附属病院総務課 TEL：027-220-7710

広報本部担当 TEL：027-220-7101



北病棟上水配管路図



チャッキバルブ 構造図